

女性のための

Q&A

第4版

貴女らしく
明日を生きるために



はじめに

このたび、新しい知見などに基づき『女性のためのQ&A 一貴女らしく明日を生きるために』を改訂いたしました。

ご存知の方も多いと思いますが、我が国では陽性者の8割以上は男性です。そのため、治療や生活についての解説書は、ほとんどが男性陽性者を想定して書かれています。しかし、男性と女性とでは、生活上の注意点も必要な情報も当然違いますから、本来は陽性女性に対しては女性の視点に立った解説書が必要です。そこで我々は、病気や治療の解説だけでなく、妊娠・出産・育児など女性のさまざまなライフステージに即した情報を盛り込んだ、女性のための冊子を作りました。

今回の改訂でめざしたのは、一人ひとりがご自分の人生設計の中で仕事や子育てと治療・身体管理が両立できるように、問題解決の方法を提供することです。病気と上手に付き合いながら、家庭で、社会で、あなたらしく日々の生活を営んでいただきたい。この冊子でそのお手伝いができたら幸いです。

塚原 優己

SPECIAL THANKS

*この冊子を作るにあたり、多くの方から日常生活で工夫していることや体験談などをうかがい、掲載させていただきました。ご協力くださいました方々に深く感謝の意を表します。



目次

Part 1 HIV感染症について

- Q 1. HIV感染症はどのような病気ですか? 2
- Q 2. どのような治療を行いますか? 4
- Q 3. 必要な診察や検査は何ですか? 6
- Q 4. 日常生活で注意することは何ですか? 8
- Q 5. 病気の感染を防ぐ方法がありますか? 10
- Q 6. 病気について伝えるメリットがありますか? 11
- Q 7. 仕事との両立は可能でしょうか? 12
- Q 8. 医療費はどのくらいかかりますか? 12

Part 2 女性のライフステージにおける特徴

- Q 9. 各ライフステージで気をつけることは何ですか? 14
- Q 10. 妊娠・出産はできるでしょうか? 16
- Q 11. 母子感染を防ぐにはどうすればよいのですか? 18
- Q 12. 育児に関して知っておくべきことはありますか? 23
- Q 13. 妊娠・出産に役立つ制度はありますか? 24

Part 3 相談や情報収集ができる場所

- Q 14. 相談をしたり情報を得られる場所がありますか? 26
- 資料 1 支援団体紹介 27
- 資料 2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト 28



Q1

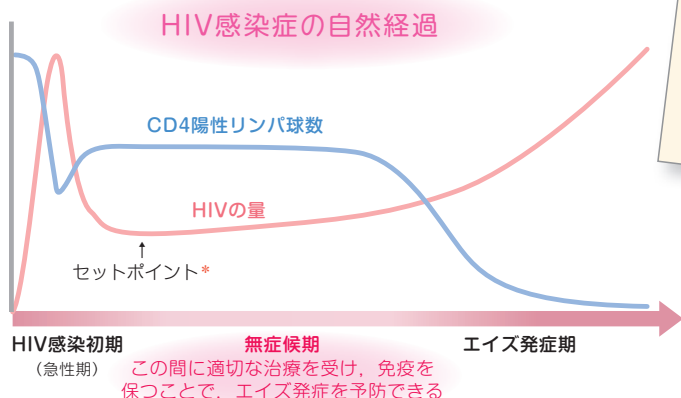
HIV感染症は



HIV感染症

HIV (human immunodeficiency virus=ヒト免疫不全ウイルス) に感染している状態を指します。HIVは免疫機能を破壊し、病気にかかりやすくするウイルスで、血液・精液・腔分泌液・母乳を介して感染します。日本での感染の大部分は性行為(同性間・異性間の両方)によるものです。女性の場合は、ほとんどが男性との性行為で感染しています。

HIV感染症にかかると、HIVはゆっくりと体内で増殖し、免疫機能を破壊していきます。



免疫とは、
からだに入った細菌やウイルスなどを排除して、からだを健康に保つ機能のことです。

* セットポイント：HIVは体に入ると急激に増殖し、1か月ぐらいから免疫の働きで減りはじめ、6か月を過ぎたところから、それ以上減らなくなる。この時点をセットポイントと呼ぶ。

どのような病気ですか？

進行予測の指標＝血中ウイルス量（HIV-RNA量）

セットポイントでのウイルス量が多いほど病気の進行が速いといわれています。治療開始の判断や抗HIV薬の効果判定の指標としても利用されます。

免疫力の指標＝CD4陽性リンパ球数

CD4は白血球のひとつで、細菌やウイルスを攻撃する司令官の役目を担い、免疫全体を調整しています。HIVが増殖するとCD4が破壊され、数が減ります。CD4数が200/μl以下になると、いろいろな日和見感染症にかかりやすくなります。

日和見感染症とは

免疫力が弱まると、健康な時には抑え込まれていた体内の細菌やウイルスが暴れだし、さまざまな病気を引き起こします。このような病気を日和見感染症といいます。



エイズ

エイズ（AIDS: acquired immunodeficiency syndrome＝後天性免疫不全症候群）とは、HIVのために免疫力が落ちてきて、エイズ発症の指標として指定されている23種類の日和見感染症のどれかを発症した状態を指します。

Q2 どのような治療を行いますか？

HIVの増殖を阻止するために、毎日、抗HIV薬を服用します。内服する抗HIV薬は1種類ではなく、効き方の異なる数種類の抗HIV薬を組み合わせます。この治療法を多剤併用療法（ART: antiretroviral therapy）と呼びます。

治療がはじまる時期

治療開始時期は、抗HIV療法ガイドライン*に基づき、CD4陽性リンパ球数や下記の項目などによって決めます。

あなたが、

- CD4<500/ μ l
- エイズを発症している
- 妊娠している
- HIV腎症である
- B型肝炎の治療が必要
- 神経学的合併症がある

のいずれかにあてはまる場合には治療開始となります。

これらに該当せず、かつCD4陽性リンパ球数が500/ μ l以上の場合でも、治療開始を推奨する専門家もいます。

治療開始のタイミングについて主治医とよく相談しましょう。



*日本エイズ学会HIV感染症治療委員会：HIV感染症「治療の手引き」第18版。
2014年12月発行。 <http://www.hiv.jp.org/>

治療成功のためには「確実な内服」が重要

抗HIV薬の内服は生涯にわたって続きます。飲み忘れると薬の血中濃度が下がり、HIVが増殖したり、今飲んでいる薬に対して耐性ウイルス（薬の効かないウイルス）を生じる危険性があります。HIV感染症の治療で大切なことは「確実な内服」です。

治療を開始する前に、定期受診できる生活環境や医療費対策を整えたり、身近な応援者を見つけておくことが、内服を継続するヒケツです。

あなた自身が治療内容を理解し、治療方針の決定に積極的に参加することも大切です。



飲み合わせに注意しましょう

薬やサプリメントには、飲み合わせによって他の薬の効き目を弱くしたり、副作用を強くするものがあります。他の病院で処方された薬やサプリメントを飲む場合には、医師に伝えましょう。



抗HIV薬はいくつかありますが、初回治療の開始時の薬は飲みやすさや効き目など、条件が一番良いものを選んでいきます。つぎつぎと薬を変えたりせずに、**最初の薬の組み合わせを大切に薬剤の変更は慎重に検討しましょう。**

Q3 必要な診察や検査は何ですか？

産 婦

血液検査

子宮頸がん検診

検査対象

B型肝炎, C型肝炎, 梅毒, 赤痢アメーバ, トキソプラズマ, サイトメガロウイルスなど.

子宮頸がん, ヒトパピローマウイルス (HPV) (必要に応じて)

検査時期

初診時または受診早期に行う. その後, 必要に応じて行う.

初診時または受診早期. その後は定期的 (半年~1年に1回) に受けるとよい. (結果によっては検査間隔が短くなる場合あり)

説 明

- ・日和見感染症や, HIV感染症と共通の感染ルートをもつ他の性感染症にかかっていないかを検査します.
- ・もし他の病気が見つければ, 早期に治療して重症化を防いだり, 病状をコントロールして抗HIV治療の開始に備えます.
- ・肝炎の有無は, 肝炎そのものの治療だけでなく, 抗HIV薬の選択をする際にも必要な情報です.

- ・子宮頸がんの原因の多くは, ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染によるものです.
- ・HIV陽性の女性はHIV陰性の女性に比べてHPVに感染しやすいいため, 子宮頸がん検診を受けて早期発見・早期治療を行うことが重要です.

HIV感染症の定期検査では、1～3か月ごとに採血してCD4陽性リンパ球数、HIV-RNA量を調べます。

また、HIVに感染するといろいろな病気にかかりやすくなりますが、その中には重症化したり、治りにくなるものがあります。女性に多い病気もあります。そのため、HIV診療の初期にいくつかの検査を受け、これらの病気を早期発見・早期治療することが大切です。中には定期的に受けたほうが良い検査・検診もあります。

それぞれの検査・検診の目的を理解して、必要なものは受けるようにしましょう。

人 科

眼 科

歯科・口腔外科

性感染症の検査

眼底検査

歯科検診

性器ヘルペス、クラミジア、トリコモナス膣炎、淋菌、膣外陰部カンジダ症、尖圭コンジローマなど

サイトメガロウイルス網膜炎

虫歯、歯周病など

おりものの量や色に変化があったり、陰部のかゆみなど自覚症状のある場合や症状がなくてもパートナーがこれらの病気にかかっている場合など。

初診時または受診早期。
その後は免疫の状態により
検査の間隔が違います。

年1～2回

- ・ HIVと同じ感染ルートでかかっている可能性があります。
- ・ 初期に症状がないものも多く、また、繰り返し発症することもありますので、検査を受けて治療することが大切です。

- ・ サイトメガロウイルス（CMV）には成人の90%以上が感染しています。
- ・ 普段はおとなしいウイルスですが、免疫が低下すると網膜炎や肺炎などを引き起こします。
- ・ 定期的に眼底検査をすることで、早期発見・早期治療し、病気の悪化を防ぐことができます。

- ・ 虫歯や歯周病などは早めに治療することをおすすめします。
- ・ 歯科で使用する薬と抗HIV薬の併用には注意が必要なものもあるので、かかりつけの歯科にはHIV感染について伝えておきましょう。
- ・ 歯科受診を希望する方は、医療スタッフに相談してみましょう。

Q₄

日常生活で 注意することは 何ですか？

健康管理

- 体調の変化は、ノートなどに記録してみましょう。
- 体調に変化がみられたら、医療スタッフに相談しましょう。
- 休日や夜間の連絡方法を医療スタッフに聞いておくといよいでしょう。

● 体調変化の例 ●



頭痛

発熱 (38℃以上は要注意!)

見えづらい かすむ
視野狭窄 (急激な)

口の中がしみる
舌が白い 歯が痛い

リンパ節の腫れ

せき たん 胸痛 息切れ

吐き気
むかつき

だるさ

皮膚のかゆみ・赤み・痛み・かぶれ

気分の変調
(イライラ・うつ・不安感)

陰部のかゆみ・痛み
月経周期の変化

不眠 めまい

不正性器出血
おりもの

腹痛
便秘

下痢 (水様の下痢が続く)

足のしびれ

こころの健康管理

生活の中で、これから先を不安に感じたり、悩んだりすることもあるかもしれません。自分らしさを失わず、病気とつきあっていくために、こころの健康にも目を向けましょう。

＜チェックしてみましょう＞

ときどきチェック項目にそって自分の状態を確認してみましょう。
あてはまる項目があったら医療スタッフに相談してください！

- ☐ 睡眠が十分に取れていない。
- ☐ 食事の量が減ってきた。
- ☐ 疲れがなかなか取れない、元気が出ない。
- ☐ 起床時間や就寝時間が一定しない。
- ☐ 日常生活が不規則になっている。
- ☐ 友人や家族に連絡したり、会うことがなくなった、少なくなった。
- ☐ 日常生活がつまらない、日常生活の中に楽しみがない。
- ☐ 好きなことに集中できない、楽しめない。
- ☐ 自分の時間が持てない。
- ☐ 困ったことが起きたときに、自分では解決できない。
- ☐ 以前は気にならなかったことが、最近は不安に感じることもある。
- ☐ 気持ちの波が大きくなっているように感じる。
- ☐ 涙もろくなってきた。

Q5 病気の感染を防ぐ方法がありますか？

- HIVは血液や精液，膣分泌液などに含まれています。
- 自分自身を他の感染症から守るために，自分の体を傷つけないように，また，他者への感染を防ぐために，体液などが他の人の粘膜や傷口に触れないようにしましょう。

性行為

- 感染を防ぐためにコンドームの使用が有効です。セックスをする時は，いつでも効果的に使用できるようにしておきましょう。
- コンドームの使用は，他人へのHIV感染を予防するだけでなく，あなた自身の性感染症予防にも効果的です。避妊効果もあります。
- 避妊のためにピルを服用する方がいますが，感染予防には効果がありませんのでご注意ください。

血液の取り扱い

- 月経血の付いた下着類は，塩素系漂白剤に浸した後，通常通り洗濯をすればよいでしょう。
- 生理用ナプキンなどの血液の付いた物を捨てる時は，ビニール袋に入れて口をしばって捨てましょう。小さなお子さんがいる場合は，お子さんが血液の付いたものに触れないように，とくに注意しましょう。
- かみそり，歯ブラシなどの共用はやめましょう。

こうしたことではHIVは感染しません！

- せき・くしゃみ ● 涙・汗 ● 風呂・プール
- 理容・美容室 ● トイレ ● 同じ鍋をつつく
- コップの回し飲み ● 蚊など

Q6 病気について伝える メリットはありますか？



病気のことを身近な人に打ち明けるのは、とても勇気のいることだと思います。ですが、家族や身近な人があなたの病気のことを理解し、協力してくれれば、あなたにとって、とても心強く、また、プラスになるでしょう。

○パートナー

パートナーもまた、HIVに感染している可能性があります。感染について伝え、検査をすすめることは、パートナーの健康を守るためにとても重要です。今後の性生活における感染予防について、妊娠・出産・育児について、二人の将来に関わる生活設計について、二人で話し合うことが重要です。

○家族

日常生活で感染することはありません。しかし、あなたのことをよく知る家族は、これからの生活の中で、力強いサポーターとなってくれるかもしれません。急いで結論を出すことはありませんが、あなたの気持ちが落ち着いたときに、病気を伝えるか考えてみることをおすすめします。

○友人

正しいHIVの知識をみんなが持っているとは限りません。もしかすると、あなたの話をなかなか受け止められないこともあるかもしれません。ですが、あなたの話を理解し、とてもよい相談相手になることもあります。あせらずゆっくり考えてみましょう。

★誰に病気を伝える場合でも、まず、あなた自身の気持ちが落ち着いていることが大切です。

★また、あなたが希望するなら、家族やパートナーに伝える際に、医療スタッフが病気や治療の説明をして、協力することができます。

Q7 仕事との両立は可能でしょうか？

HIV感染症と診断されても、あわてて仕事をやめる必要はありません。現にHIV感染者の多くは、それまでの生活を大きく変えることなく生活しています。あなたも仕事と治療が両立できるよう工夫してみましょう。

仕事の都合などで定期受診が難しい場合には医療スタッフに相談してください。通いやすい場所にある医療機関や、通いやすい時間帯に受診可能な医療機関を紹介できるかもしれません。

HIV感染症の受診間隔
は1～3か月に1回程度
です。確実に受診できる
ように調整しましょう。

Q8

医療費はどのくらいかかりますか？

定期受診にかかる費用は、健康保険を使用した3割負担で、内服治療開始前は7千円程度、また、内服治療開始後は、6万円前後の薬代が追加でかかります。しかし、患者さんが安心して医療継続できるよう、いくつかの社会的な支援制度があります。

★社会保障制度の申請については、お住まいの市区町村の障害福祉課や、病院の医療ソーシャルワーカー・看護師などに相談してみましょう。

医療費の助成制度

高額療養費制度	被保険者の1か月の医療費自己負担が限度額を超えたときに、超えた分が支給される。食事代、文書料、差額ベッド代は除く。 *限度額認定証の交付を受けている場合は、自己負担限度額の支払いとなる。	加入している健康保険
重度心身障害者医療費助成	身体障害者手帳を持っている人に対し、医療費の自己負担分が助成される。等級制限、所得制限がある。	市区町村
限度額適用認定証	治療のために入院が必要となった場合、本証を医療機関に提示すれば、医療費の自己負担額が限度額までとなる。	加入している健康保険
障害者自立支援医療	18歳未満で障害のある人、または18歳以上で身体障害者手帳を持っている人に対し、特定の治療（HIV治療）にかかる医療費が助成される。所得に応じた自己負担あり。	市区町村

生活費を補償する制度

傷病手当金	被保険者本人が病気のために欠勤し、給料を受けられないときに支給される。国民健康保険は保健組合の一部のみで支給。	加入している健康保険
障害年金	病気やけがが原因となった心身の障害の状態のために、日常生活や労働に著しい制限がある人に支給される。	国民年金課 年金事務所
生活保護	生活を維持するために必要な収入が得られない人に保護費を支給する。	市区町村



各ライフステージで

女性のライフステージと病気や生活について

ライフステージ

思春期（8～18歳）

成熟期（18～45歳）

起こりやすい疾患

- ・摂食障害
- ・貧血
- ・無月経
- ・月経前症候群
- ・月経困難症
- ・性感染症

- ・不妊症
- ・乳がん・子宮がん・卵巣がん
- ・早期閉経
- ・性感染症
- ・子宮内膜症
- ・子宮筋腫
- ・貧血

ライフイベント

- ・初潮
- ・学生生活

- ・就職
- ・結婚・妊娠・出産・育児

HIV感染症をもつ

女性の課題

*各ステージ共通

- ・定期的な受診
- ・抗HIV薬の確実な服用
- ・その他合併症のコントロール

対処方法は、各Q&Aのページを参照してください。

気をつけることは何ですか？

更年期（45～55歳）

老年期（55歳～）

- 更年期障害
- 排尿トラブル
- 骨粗鬆症
- 生活習慣病
- 乳がん・子宮がん・卵巣がん
- 性感染症

- 排尿トラブル
- 萎縮性膀胱
- 骨粗鬆症
- 子宮がん
- 卵巣がん

- 閉経
- 家族関係の変化
- 親の介護・子供の自立
- 老いの受容

- 退職
- 配偶者の介護

- 長期服用による副作用
- 生活習慣病指導，相談

- 地域でのサポート（生活・療養）

- 各種健診の実施
- 婦人科検診
- 性感染症予防と避妊

- パートナー健診
- 療養と生活の両立

女性特有の症状など、
男性医師には伝えに
くいことがあるかもし
れません。そのような
ときは看護師やその
他のスタッフに伝えて
みましょう。

Q10 妊娠・出産は できるのでしょうか？

◆これから妊娠を望む方

妊娠・出産は可能です。しかし、自然妊娠ではパートナーに感染リスクが生じます。一部の医療機関では、女性感染者と夫との間で人工授精を実施していますが、妊娠・出産にあたっては治療方針の変更（妊娠中も継続可能な抗HIV薬を選択する、など）や生活環境の調整が必要な場合もあるため、医療スタッフと相談し、計画的に妊娠することが望ましいと考えます。

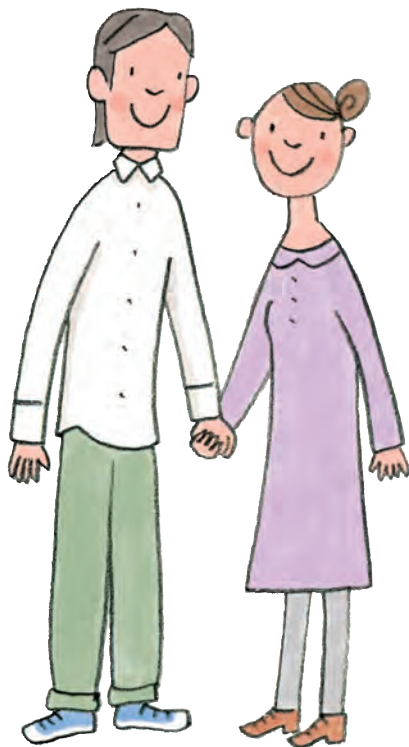
これらの点も含め、子どもを望むかどうかは家族内での話し合いを重ねながら慎重に決定することをお勧めします。「将来的には子どもがほしい」と思っている方も、医療スタッフに相談してみましょう。



◆妊娠後にHIV感染がわかった方

適切な治療と母子感染予防対策を行えば感染率を0.5%以下に抑えられるようになってきました。妊娠・出産・子育てをしている女性感染者も増えてきています。

HIV感染という診断を受けて、あなた（とパートナー）は妊娠を継続するかどうかで迷っているかもしれません。病気を抱えての妊娠・出産・子育てに不安を感じることもあるかもしれません。感染が判明したら、早期に妊娠を継続するか決める必要があります。HIV感染症・治療法・治療の見通しについて、妊娠継続した場合としない場合の両方の経過を理解できるようにお話しします。それでも迷うかもしれませんが、自己決定できるようお手伝いさせていただきますので、そのような時は、遠慮せずに医療スタッフに相談してください。あなたの力になれると思います。



◆自己決定のためのお話内容

- 妊娠継続した場合としない場合の両方の経過
- 母子感染の概要と予防法，母子感染のリスク，児の経過など
- 感染していない児の予防薬の影響，長期的な発育・発達について
- 感染児の経過

Q11

母子感染を防ぐには

妊娠中から次のような母子感染予防対策をとります。この対策によって、日本では赤ちゃんの感染率は0.5%以下になってきています。

母子感染予防対策

- 妊婦のHIV感染の早期診断
- 抗HIV薬を服用し分娩時のウイルス量を少なくする
- 分娩時にはレトロビルを点滴する
- 分娩方法は予定帝王切開とする（分娩日をあらかじめ決めておく）
- 止乳する（母乳を止めて、粉ミルクを用いる）
- 赤ちゃんに抗HIV薬（レトロビルシロップ）を6週間飲ませる

お母さんの対策

◆ 抗HIV薬の服用

これまで、抗HIV薬は胎児の奇形が心配な妊娠初期を避け、妊娠14週以降から服用することが推奨されていましたが、米国の最新治療ガイドライン（2014年3月）*では、「治療（抗HIV療法）が必要な妊婦さんについては、14週まで待たずに、できるだけ早く予防内服を開始することが望ましい。すぐに治療を開始する必要のない妊婦さんについても、早期に予防内服を開始することが望ましい」と変更されました。ただし日本では、すぐに治療開始の必要がない場合には、妊娠14週以降に遅らせることを考慮しています。

また、催奇形性のあるストックリンの内服について、上記のガイドラインでは、「ストックリンを内服している女性の妊娠が判明したときは、内服継続が可能」となりましたが、日本では他の薬剤に変更することが多いです。

抗HIV薬の胎児に対する影響は完全にはわかっていません。医師とよく話し合って薬剤の選択や開始時期を決めましょう。



*Department of Health and Human Services (DHHS) Panel on Treatment of HIV-Infected Pregnant Women and Prevention of Perinatal Transmission. Recommendations for Use of Antiretroviral Drugs in Pregnant HIV-1-Infected Women for Maternal Health and Interventions to Reduce Perinatal HIV Transmission in the United States. March 30, 2014

どうすればよいのですか？

◆分娩は帝王切開術

陣痛(子宮の収縮)が始まると、お母さんの血液が胎盤を通して子宮内の赤ちゃんに接触する可能性があります。これを防ぐため、陣痛の起こる前に赤ちゃんを母体から帝王切開術で取り出してあげます。

近年、欧米では、治療でウイルス量を抑えられている妊婦は経膣分娩も可能という考え方になりつつありますが、その根拠が明確ではなく、また医療機関においても適切に対応できる体制が十分整っていない場合もあるので、日本では赤ちゃんの感染防止を第一に考えて、予定帝王切開術を推奨しています。

ただし、帝王切開術を選択することに妊婦さんの同意が得られない場合や、急に陣痛が起こり帝王切開術が間に合わない場合、破水後長時間たっている場合などは経膣分娩が選択されることがあります。



出産方法による母子感染率の違い (2000年以後)

抗HIV薬を服用して予定帝王切開した場合



抗HIV薬を服用せずに経膣分娩した場合



平成26年度厚生労働省研究班報告による

妊娠中の 注意点

- 予定帝王切開術の前に陣痛や破水が起きた場合は、すぐに病院に連絡してください。あわてないように、あらかじめ医療スタッフと連絡先や方法を決めておくのと良いでしょう。
- 病気を抱えての妊娠・出産で不安もあるかもしれませんが、医療スタッフがサポートしますので、安心してゆったりとした気持ちで過ごしてください。

赤ちゃんの対策

◆赤ちゃんへの投薬

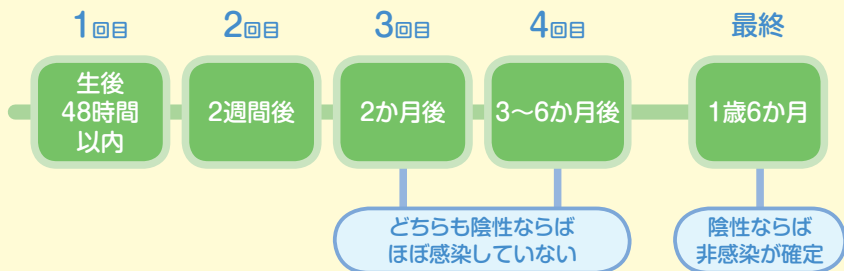
赤ちゃんには感染予防のためにレトロビルシロップを6週間飲ませます。それにより貧血などの副作用が出る場合がありますので、必ず医師の指示に従って受診するようにしてください。



◆赤ちゃんの感染の有無の判定時期

赤ちゃんが生まれたら、血液検査でHIV-RNA量を調べます。検査は出生48時間以内、2週間後、2か月後、3～6か月後、1歳6か月の5回実施します。3回目と4回目の検査結果が陰性であれば、9割以上の確率で感染は否定できます。最終的に感染していないと診断する検査は1歳6か月で実施します。

赤ちゃんのHIV検査



検査でHIV感染が分かった場合は、すぐに治療を開始します。

妊娠～入院前までに実施すること

妊娠週数		～13週	14週～ 23週	24週～入院前 (24～35週, 36週～入院前)	
産科 関連	妊婦健診	1回/2～4週	1回/4週	1回/2週	1回/1週
	検査・採血	初期検査*1, 超音波検査	血算, 血糖	手術前検査 (X線, 心電図, 血算 など), 超音波検査, B群溶連菌感染症検査	
	手続き	分娩予約 母子健康手帳交付		直接支払制度 産科医療補償制度 入院予約	
	助産師との面談	妊婦健診案内	出産準備教室 病棟案内	入院オリエンテーション (入院手続き・準備など)	
HIV 感染症 関連	HIV感染症診療	1回/2～4週	1回/4週	1回/4～8週	
	検査・採血	1回/4週 CD4数, ウイルス量, 他 パートナーの検査	1回/4週 CD4数, ウイルス量, 他	1回/4週 CD4数, ウイルス量, 他	
	母子感染予防*2 (治療をかねる)	服薬オリエンテ ーション	抗HIV療法開始	抗HIV療法継続	
	手続き	心身障害者手帳 医療費助成制度			
	担当看護師との 面談 (指導内容)	HIV感染症の疾 患と治療の概要 母子感染予防方法 支援者の確保 (病名打ち明け)	服薬オリエンテ ーション (服薬方法・飲 み合わせなど)	服薬フォローアップ 病名を知る人の確認 (家族などの対応に備えて)	

*1：一般に血算, 血糖, B型肝炎, C型肝炎, 梅毒, 風疹抗体, 血液型など

*2：母子感染予防の薬剤は, 抗HIV療法の薬剤と同じです。

Part 2 女性のライフステージにおける特徴

入院～分娩～退院までに実施すること

	経過日数	入院時	37週 予定帝王 切開術後	産後 1～2日	産後 3日	産後 5～6日	産後 7日～退院
産科関連—母親	安静度	制限なし	臥床	離床 制限なし			
	清潔ケア		洗面・ 悪露交換	全身清拭 陰部清拭	シャワー	シャワー	シャワー
	乳房ケア			止乳剤服用			必要時 止乳剤服用
	母子ケア		母子・ 家族面会	初回			
	育児指導			母子同室 育児指導		沐浴指導 退院指導	育児指導
HIV関連—母親	検査・ 採血	1回 CD4数, ウイルス量, その他					
	抗HIV薬 の服用	自己管理	一時中止 AZT点滴 (分娩時)	再開(状態 に応じて 自己管理)			
	指導	血液の取 り扱い					
出生児	母子感染 予防		AZTシロッ プ開始 (多剤併用 も含む)	母親管理 児の内服を 母が見学・ 実施			
	検査フォ ロー		HIV抗体検 査/ウイル ス量測定				

Q12 育児に関して 知っておくべき ことはありますか？

予 防 接 種

乳幼児は生後3か月ぐらいから、地域の保健所や医療機関で各種の予防接種を受けることになっています。赤ちゃんがHIVに感染していなければ、いずれの予防接種も可能です。以前は、生ワクチンのポリオの予防接種により、赤ちゃんの便の接触でお母さんへのポリオ感染のリスクがありましたが、現在は、不活化ポリオワクチンにより、その心配はなくなりました。

育 児 相 談

あなたが住んでいる地域にも「母子保健」担当の保健師や助産師がいることをご存じですか？

母子保健担当者は、産前の母親学級や産後の新生児訪問、乳児健診や育児相談を行っています。育児に困った時には良いアドバイスがもらえることでしょう。もし、プライバシーの問題が気になるようなら、医療スタッフに相談して、担当保健師を決めてから、かかり始めるのもいいでしょう。



あなたの了解なしに病院から母子保健担当者にHIV感染について知らせることはありません。あらかじめ担当者にHIV感染を伝えておいてほしい、そのほうが不安や心配が軽くなる、という人もいます。そのような場合は医療スタッフに伝えてもらいましょう。

Q13

妊娠・出産に 役立つ制度は ありますか？

経済的負担を軽くする制度

- 医療費や生活費の経済的負担を軽くする制度が各種あります。
- 健康保険とこれらの制度を利用すれば、高額になりがちな治療費負担はかなり軽くなります。
- 制度ごとに条件や申請方法が違うので、詳しいことは、各制度の窓口や病院のソーシャルワーカーに確認してください。

妊娠・出産に関する負担を サポートする制度

- 妊産婦が利用できるいろいろな制度があります。
- 妊娠が分かったら、できるだけ早い時期に市区町村の窓口で母子健康手帳をもらってください。
- 一般に分娩のための費用は自己負担になりますが、出産後に健康保険から「出産育児一時金」が支給されます。
- 保険者が出産育児一時金を妊婦に代わって医療機関に支払う「直接支払い制度」を利用すれば、医療機関の窓口で支払う出産費用は出産育児一時金を上回った額のみとなります。
- 経済的に困っている人は入院助産制度が利用できる施設もあります。

外国人を対象とした支援

- 国民健康保険は、3か月を越える在留資格があり、住民登録をしている外国人も加入できます。
- 母子健康手帳や入院助産制度などは国籍や滞留資格を問わないので、外国人も利用できます。
- 市区町村によっては、各国語の相談窓口を設けています。
- このほか、各地の支援団体が各国語で電話相談や通訳などの支援をしています。

妊娠・出産・育児にかかわる制度

名 称	制 度 の 概 要	申請窓口
母子健康手帳	妊娠届けを提出し交付される。国籍や滞在資格は問わない。妊娠・出産の状態、乳幼児期の経過、予防接種など母と子の記録をするもの。	市区町村
妊婦健康診査受診票	妊婦健診の費用の一部を公費で負担する。超音波検査は市区町村により対象者、回数が異なる。	市区町村
保健指導票	経済的理由により保健指導を受けられない妊産婦・乳児に対して、必要な保健指導を受ける機会を提供する。所得制限がある。	市区町村
入院助産	経済的に出産費用を支払うことが困難な妊婦に対して、都道府県が指定した入院助産施設（病院）の出産費用が助成される。所得制限及び所得に応じた自己負担がある。	市区町村
養育医療	出生時の体重が2000g以下、または重い病気のある乳児について医師が入院して養育を受ける必要があると認めた場合に医療が給付される。所得に応じた自己負担がある。	市区町村
出産手当金	産休（産前42日目から産後56日目までの範囲）のために給料が受けられないときに支給される。	加入している健康保険
出産育児一時金	出産後に分娩費相当の一定額が支給される。	加入している健康保険
出産育児一時金の直接支払制度	出産育児一時金を医療機関が妊婦に代わって健康保険に請求し、支払いを受ける制度。本人は高額な出産費用を医療機関の窓口で支払わずにすむ。	出産予定の医療機関

Q14 相談をしたり 情報を得られる 場所がありますか？

病気のことやいろいろな悩みを相談できる人が身近にいない時は、医療スタッフに相談してみてください。医師には気軽に相談できないという方も、看護師やソーシャルワーカー、カウンセラー、またはボランティアになら話しやすいかもしれません。遠慮せずに話してみましょう。

HIV感染者と関係者の団体も数多く活動しています。参加してみてもいいかもしれません。



人に話すことは自分の気持ちや考え方を整理することにつながりますし、悩みや心配事をひとりで抱え込むより精神的負担も軽くなります。ぜひ、あなたのことを理解し、応援してくれる人を見つけていただきたいと思います。

医療情報などは日々変わるので、新しい情報を得ることはとても大切です。印刷物の情報は古くなっていることも少なくありません。積極的に相談してみましょう。

資料1 支援団体紹介

特定非営利活動法人 (NPO法人) ぷれいす東京

HIV陽性者とその周囲の人を支援する活動を行っています。

連絡先

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-5
三幸ハイツ403
TEL: 03-3361-8964 FAX: 03-3361-8835

●ポジティブライン

HIV陽性者・パートナー・家族のための電話相談です。
匿名での相談も可能です。(厚生労働省委託事業)
TEL: 0120-02-8341
月～土13:00～19:00(祝祭日/年末年始を除く)

●対面相談サービス

専任の相談員が対応します。事前の予約が必要です。
問い合わせ&予約はTEL: 03-3361-8964 まで。
月～土12:00～19:00(祝祭日/年末年始を除く)

●ネスト・プログラム

HIV陽性者・パートナー・家族など、同じ立場の人たちのための様々な交流プログラムを開催しています。
参加するには利用登録が必要です。
問い合わせはTEL: 03-3361-8964
e-mail: nest@ptokyo.org まで。

●Women's Salon

女性のHIV陽性者のためのプログラムです。

●異性愛者のための交流ミーティング

異性愛の男女HIV陽性者の交流プログラム。
女性の陽性者も多く参加しています。

●web NEST

HIV陽性者とそのパートナーや家族、友だちのために役立つ情報や、経験の共有・共感の場をウェブ上で提供しています。ネスト・プログラムのスケジュールも掲載しています。
<http://web-nest.ptokyo.org/>

特定非営利活動法人 (NPO法人) チャーム CHARM (Center for Health and Rights of Migrants)

国籍にかかわらずHIV陽性の人を支援しています。

連絡先

〒530-0031 大阪市北区菅米町10-19
TEL/FAX: 06-6354-5902
E-mail: office@charmjapan.com
URL: <http://www.charmjapan.com>

●ソーシャルワーカー・カウンセラーとの相談, HIV陽性の女性との相談, 年1回の1泊HIV女性交流会

●電話相談 TEL: 06-6354-5901

日本語 月～木10:00～17:00(担当: 青木)
英語 火, 木16:00～20:00
スペイン語 火16:00～20:00
ポルトガル語 火16:00～20:00
タイ語 水16:00～20:00

ユネフル Une fleur

*フランス語で「1輪の花」の意味です。

女性HIV陽性者の会です。

連絡先

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-9 光明堂ビル5F ねぎし内科診療所内
E-mail: unefleur1999@gmail.com

- 1999年, 日本エイズ学会にて女性陽性者自ら企画する集まり『Woman's Party』を開催。遠方から来てくださった女性が「ひとりじゃないと感ずることができてうれしかった」と言った一言が、その後、不定期ではあるけれど『Woman's Party』を続けてきた私たちの支えになっています。
- 講師を招く勉強会+自由なおしゃべり会をしたり、みんなでおいしいものを食べに行ったりしています。(「Une fleur」発行のパンフレットから)

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター(ACC)作成

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
北海道	札幌医科大学附属病院	060-8543	札幌市中央区南一条西16-291	011-611-2111
	北海道大学病院 *	060-8648	札幌市北区北十四条西5	011-716-1161
	北海道がんセンター	003-0804	札幌市白石区菊水四条2-3-54	011-811-9111
	市立札幌病院	060-8604	札幌市中央区北十一条西13-1-1	011-726-2211
	北海道医療センター	063-0005	札幌市西区山の手5-7-1-1	011-611-8111
	市立小樽病院	047-8550	小樽市若松1-2-1	0134-25-1211
	市立函館病院	041-8680	函館市港町1-10-1	0138-43-2000
	北海道立江差病院	043-0022	檜山郡江差町字伏木戸町484	0139-52-0036
	旭川医科大学病院 *	078-8510	旭川市緑が丘東2条1-1-1	0166-65-2111
	旭川赤十字病院	070-8530	旭川市曙一条1-1-1	0166-22-8111
	市立旭川病院	070-8610	旭川市金星町1-1-65	0166-24-3181
	旭川医療センター	070-8644	旭川市花咲町7-4048	0166-51-3161
	旭川厚生病院	078-8211	旭川市一条通24-111	0166-33-7171
	広域紋別病院	094-8709	紋別市緑町5-6-8	0158-24-3111
	北見赤十字病院	090-8666	北見市北六条東2-1	0157-24-3115
	釧路労災病院 †	085-8533	釧路市中国町13-23	0154-22-7191
	釧路赤十字病院	085-8512	釧路市新栄町21-14	0154-22-7171
	市立釧路総合病院	085-8558	釧路市春湖台1-12	0154-41-6121
	帯広厚生病院	080-8502	帯広市西六条南8-1	0155-24-4161
青森県	青森県立中央病院 †	030-8553	青森市東造道2-1-1	017-726-8111
	八戸市立市民病院	031-8555	八戸市田向字毘沙門平1	0178-72-5111
	弘前病院	036-8545	弘前市富野町1	0172-32-4311
	弘前大学医学部附属病院	036-8563	弘前市本町53	0172-33-5111
岩手県	岩手医科大学附属病院 †	020-8505	盛岡市内丸19-1	019-651-5111
	岩手県立中央病院	020-0066	盛岡市上田1-4-1	019-653-1151
	盛岡病院	020-0133	盛岡市青山1-25-1	019-647-2195
	岩手病院	021-0056	一関市山目泥田山下48	0191-25-2221
宮城県	仙台医療センター *†	983-8520	仙台市宮城野区宮城野2-8-8	022-293-1111
	東北大学病院	980-8574	仙台市青葉区星陵町1-1	022-717-8220
	仙台西多賀病院	982-8555	仙台市太白区釣取本町2-11-11	022-245-2111
	仙台市立病院	984-8501	仙台市若林区清水小路3-1	022-266-7111
	宮城県立がんセンター	981-1293	名取市愛島塩手字野田山47-1	022-384-3151
	宮城県立循環器・呼吸器病センター	989-4513	栗原市瀬峰根岸55-2	0228-38-3151
	宮城病院	989-2202	亘理郡山元町高瀬字合戦原100	0223-37-1131
秋田県	大館市立総合病院 †	017-8550	大館市豊町3-1	0186-42-5370
	秋田赤十字病院	010-1495	秋田市上北手猿田字苗代沢222-1	018-829-5000
	秋田大学医学部附属病院	010-8543	秋田市広面字蓮沼44-2	018-834-1111
	平鹿総合病院	013-0042	横手市前郷字ハツコ3-1	0182-32-5121

*ブロック拠点病院 †中核拠点病院

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
山形県	山形県立中央病院 ↑	990-2292	山形市大字青柳 1 8 0 0	023-685-2626
	山形市立病院済生館	990-8533	山形市七日町 1-3-2 6	023-625-5555
	山形大学医学部附属病院	990-9585	山形市飯田西 2-2-2	023-633-1122
	米沢市立病院	992-8502	米沢市相生町 6-3 6	0238-22-2450
	山形県立新庄病院	996-0025	新庄市若葉町 1 2-5 5	0233-22-5525
	鶴岡市立荘内病院	997-8515	鶴岡市泉町 4-2 0	0235-26-5111
	日本海総合病院	998-8501	酒田市あきほ町 3 0	0234-26-2001
	山形県立河北病院	999-3511	西村山郡河北町谷地字月山堂 1 1 1	0237-73-3131
	公立置賜総合病院	992-0601	東置賜郡川西町大字西大塚 2 0 0 0	0238-46-5000
福島県	福島県立医科大学附属病院 ↑	960-1295	福島市光が丘 1	024-547-1111
	白河厚生総合病院	961-0005	白河市豊地上弥次郎 2-1	0248-22-2211
	公立岩瀬病院	962-8503	須賀川市北町 2 0	0248-75-3111
	福島病院	962-8507	須賀川市芦田塚 1 3	0248-75-2131
	太田熱海病院	963-1383	郡山市熱海町熱海 5-2 4 0	024-984-0088
	太田西ノ内病院	963-8558	郡山市西ノ内 2-5-2 0	024-925-1188
	寿泉堂総合病院	963-8585	郡山市駅前 1-1-1 7	024-932-6363
	福島県立医科大学会津医療センター附属病院	969-3492	会津若松市河東町谷沢字前田 2 1-2	0242-75-2100
	竹田総合病院	965-8585	会津若松市山鹿町 3-2 7	0242-27-5511
	会津中央病院	965-8611	会津若松市鶴賀町 1-1	0242-25-1515
	福島労災病院	973-8501	いわき市内郷綴町沼尻 3	0246-26-1111
	いわき市立総合磐城共立病院	973-8555	いわき市内郷御殿町久世原 1 6	0246-26-3151
	呉羽総合病院	974-8232	いわき市錦町落合 1-1	0246-63-2181
	南相馬市立総合病院	975-0033	南相馬市原町区高見町 2-5 4-6	0244-22-3181
茨城県	筑波大学附属病院 ↑	305-8576	つくば市天久保 2-1-1	029-853-3592
	水戸赤十字病院	310-0011	水戸市三の丸 3-1 2-4 8	029-221-5177
	水戸医療センター	311-3193	東茨城郡茨城町桜の郷 2 8 0	029-240-7711
	茨城東病院	319-1113	那珂郡東海村照沼 8 2 5	029-282-1151
	茨城県立中央病院	309-1793	笠間市鯉淵 6 5 2 8	0296-77-1121
	土浦協同病院	300-0053	土浦市真鍋新町 1 1-7	029-823-3111
	霞ヶ浦医療センター	300-8585	土浦市下高津 2-7-1 4	029-822-5050
	東京医科大学茨城医療センター	300-0395	稲敷郡阿見町中央 3-2 0-1	0298-87-1161
	茨城西南医療センター病院	306-0433	猿島郡境町 2 1 9 0	0280-87-8111
	ひたちなか総合病院	312-0057	ひたちなか市石川町 2 0-1	029-354-5111
栃木県	済生会宇都宮病院 ↑	321-0974	宇都宮市竹林町 9 1 1-1	028-626-5500
	栃木県立がんセンター	320-0834	宇都宮市陽南 4-9-1 3	028-658-5151
	栃木医療センター	320-8580	宇都宮市中戸祭 1-1 0-3 7	028-622-5241
	栃木県立岡本台病院	329-1104	宇都宮市下岡本町 2 1 6 2	028-673-2211
	宇都宮病院	329-1193	宇都宮市下岡本町 2 1 6 0	028-673-2111

*ブロック拠点病院 ↑ 中核拠点病院

Part3 相談や情報収集ができる場所

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
栃木県	那須赤十字病院	324-8686	大田原市中田原1081-4	0287-23-1122
	芳賀赤十字病院	321-4306	真岡市台町2461	0285-82-2195
	獨協医科大学病院 ↑	321-0293	下都賀郡壬生町北小林880	0282-86-1111
	自治医科大学附属病院 ↑	329-0498	下野市薬師寺3311-1	0285-44-2111
	足利赤十字病院	326-0843	足利市五十部町284-1	0284-21-0121
群馬県	高崎総合医療センター	370-0829	高崎市高松町36	027-322-5901
	群馬大学医学部附属病院 ↑	371-8511	前橋市昭和町3-39-15	027-220-7111
	前橋赤十字病院	371-0014	前橋市朝日町3-21-36	027-224-4585
	西群馬病院	377-8511	渋川市金井2854	0279-23-3030
埼玉県	東埼玉病院 ↑	349-0196	蓮田市大字黒浜4147	048-768-1161
	自治医科大学附属さいたま医療センター	330-8503	さいたま市大宮区天沼町1-847	048-647-2111
	埼玉医科大学病院	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷38	049-276-1281
	埼玉病院	351-0102	和光市諏訪2-1	048-462-1101
	西埼玉中央病院	359-1151	所沢市若狹2-1671	04-2948-1111
	防衛医科大学校病院	359-8513	所沢市並木3-2	04-2995-1511
千葉県	千葉大学医学部附属病院 ↑	260-8677	千葉市中央区玄鼻1-8-1	043-222-7171
	千葉医療センター	260-8606	千葉市中央区椿森4-1-2	043-251-5311
	千葉東病院	260-8712	千葉市中央区仁戸名町673	043-261-5171
	順天堂大学医学部附属浦安病院	279-0021	浦安市富岡2-1-1	047-353-3111
	成田赤十字病院	286-8523	成田市飯田町90-1	0476-22-2311
	国保旭中央病院	289-2511	旭市イ1326	0479-63-8111
	国保直営総合病院君津中央病院	292-8535	木更津市桜井1010	0438-36-1071
	鉄蕉会亀田総合病院	296-8602	鴨川市東町929	04-7092-2211
	東京勤労者医療会東葛病院	270-0174	流山市下花輪409	04-7159-1011
東京都	駿河台日本大学病院	101-8309	千代田区神田駿河台1-8-13	03-3293-1711
	聖路加国際病院	104-8560	中央区明石町9-1	03-3541-5151
	東京慈恵会医科大学附属病院 ↑	105-8471	港区西新橋3-19-18	03-3433-1111
	東京大学医学研究所附属病院	108-8639	港区白金台4-6-1	03-3443-8111
	がん・感染症センター都立駒込病院 ↑	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101
	順天堂大学医学部附属順天堂医院	113-8431	文京区本郷3-1-3	03-3813-3111
	東京大学医学部附属病院	113-8655	文京区本郷7-3-1	03-3815-5411
	東京医科歯科大学医学部附属病院	113-8519	文京区湯島1-5-45	03-3813-6111
	日本医科大学付属病院	113-8603	文京区千駄木1-1-5	03-3822-2131
	東部地域病院	125-8512	葛飾区亀有5-14-1	03-5682-5111
	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	125-8506	葛飾区青戸6-41-2	03-3603-2111
	東京都立墨東病院	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151
	東京臨海病院	134-0086	江戸川区臨海町1-4-2	03-5605-8811
	昭和大学病院	142-8666	品川区旗の台1-5-8	03-3784-8000

*ブロック拠点病院 ↑中核拠点病院

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
東京 都	東邦大学医療センター大森病院	143-8541	大田区大森西6-11-1	03-3762-4151
	荏原病院	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	03-5734-8000
	日本赤十字社医療センター	150-0012	渋谷区広尾4-1-22	03-3400-1311
	東京都立広尾病院	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181
	東京医療センター	152-8902	目黒区東が丘2-5-1	03-3411-0111
	東京医科大学病院	160-0023	新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111
	大久保病院	160-8488	新宿区歌舞伎町2-44-1	03-5273-7711
	慶應義塾大病院 †	160-8582	新宿区信濃町35	03-3353-1211
	国立国際医療研究センター病院 **	162-8655	新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181
	東京女子医科大学病院	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111
	東京山手メディカルセンター	169-0073	新宿区百人町3-22-1	03-3364-0251
	都立大塚病院	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211
	荻窪病院	167-8515	杉並区今川3-1-24	03-3399-1101
	東京都健康長寿医療センター	173-0015	板橋区栄町35-2	03-3964-1141
	帝京大学医学部附属病院	173-8606	板橋区加賀2-11-1	03-3964-1211
	豊島病院	173-0015	板橋区栄町33-1	03-5375-1234
	日本大学医学部附属板橋病院	173-8610	板橋区大谷口上町30-1	03-3972-8111
	武蔵野赤十字病院	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111
	杏林大学医学部付属病院	181-8611	三鷹市新川6-20-2	0422-47-5511
	東京都立多摩総合医療センター	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111
	公立昭和病院	187-8510	小平市天神町2-450	042-461-0052
	多摩北部医療センター	189-8511	東村山市青葉町1-7-1	042-396-3811
	立川病院	190-8531	立川市錦町4-2-22	042-523-3131
	東京医科大学八王子医療センター	193-0998	八王子市館町1163	042-665-5611
	町田市市民病院	194-0023	町田市旭町2-15-41	042-722-2230
	青梅市立総合病院	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191
	東京病院	204-8585	清瀬市竹丘3-1-1	042-491-2111
	多摩南部地域病院	206-0036	多摩市中沢2-1-2	042-338-5111
	日本医科大学多摩永山病院	206-8512	多摩市永山1-7-1	042-371-2111
神奈 川 県	横浜市立大学附属病院 †	236-0004	横浜市金沢区福浦3-9	045-787-2800
	横浜市立みなと赤十字病院	231-8682	横浜市中区新山下3-12-1	045-628-6100
	神奈川県立こども医療センター	232-8555	横浜市長区六つ川2-138-4	045-711-2351
	横浜市民総合医療センター	232-0024	横浜市長区浦舟町4-57	045-261-5656
	神奈川県立汐見台病院	235-0022	横浜市磯子区汐見台1-6-5	045-761-3581
	横浜市民病院	240-8555	横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961
	横浜医療センター	245-8575	横浜市戸塚区原宿3-60-2	045-851-2621
	川崎市立川崎病院	210-0013	川崎市川崎区新川通12-1	044-233-5521
	川崎市立井田病院	211-0035	川崎市中原区井田2-27-1	044-766-2188

** エイズ治療・研究開発センター(ACC) * ブロック拠点病院 † 中核拠点病院

Part3 相談や情報収集ができる場所

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院	216-8511	川崎市宮前区菅生2-16-1	044-977-8111
	相模原病院	252-0392	相模原市南区桜台18-1	042-742-8311
	北里大学病院	252-0375	相模原市南区北里1-15-1	042-778-8111
	津久井赤十字病院	220-0207	相模原市津久井町中野256	042-784-1101
	厚木市立病院	243-8588	厚木市水引1-16-36	046-221-1570
	東海大学医学部付属病院	259-1193	伊勢原市下糟屋143	0463-93-1121
	秦野赤十字病院	257-0017	秦野市立野台1-1	0463-81-3721
山梨県	神奈川県立足柄上病院	258-0003	足柄上郡松田町松田惣領866-1	0465-83-0351
	山梨県立中央病院 ↑	400-8506	甲府市富士見1-1-1	055-253-7111
	市立甲府病院	400-0832	甲府市増坪町366	055-244-1111
	甲府病院	400-8533	甲府市天神町11-35	055-253-6131
	大月市立中央病院	401-0015	大月市大月町花咲1225	0554-22-1251
	山梨赤十字病院	401-0301	南都留郡富士河口湖町船津6663-1	0555-72-2222
	都留市立病院	402-0056	都留市つる5-1-55	0554-45-1811
	富士吉田市立病院	403-0005	富士吉田市上吉田6530	0555-22-4111
長野県	葦崎市立病院	407-0024	葦崎市本町3-5-3	0551-22-1221
	山梨大学医学部附属病院	409-3898	中央市下河東1110	055-273-1111
	長野県立須坂病院 ↑	382-0091	須坂市大字須坂1332	026-245-1650
	長野赤十字病院	380-8582	長野市若里5-22-1	026-226-4131
	佐久総合病院	384-0301	佐久市臼田197	0267-82-3131
	信州上田医療センター	386-8610	上田市緑が丘1-27-21	0268-22-1890
	信州大学医学部附属病院	390-8621	松本市旭3-1-1	0263-35-4600
	まつもと医療センター 松本病院	399-8701	松本市村井町南2-20-30	0263-58-4567
新潟県	諏訪赤十字病院	392-8510	諏訪市湖岸通り5-11-50	0266-52-6111
	飯田市立病院	395-8502	飯田市八幡町438	0265-21-1255
	新潟市民病院 *	950-1197	新潟市中央区鐘木463-7	025-281-5151
	新潟大学医歯学総合病院 *↑	951-8520	新潟市中央区旭町通一番町754	025-223-6161
	西新潟中央病院	950-2085	新潟市西区真砂1-14-1	025-265-3171
	新潟県立新発田病院 *	957-8588	新発田市本町1-2-8	0254-22-3121
富山県	長岡赤十字病院	940-2085	長岡市千秋2-297-1	0258-28-3600
	新潟県立中央病院	943-0192	上越市新南町205	025-522-7711
	富山県立中央病院 ↑	930-8550	富山市西長江2-2-78	076-424-1531
	富山大学附属病院	930-0194	富山市杉谷2630	076-434-2281
	石川県立中央病院 *↑	920-8530	金沢市鞍月東2-1	076-237-8211
石川県	医王病院	920-0192	金沢市岩出町二73-1	076-258-1180
	金沢大学附属病院	920-8641	金沢市宝町13-1	076-265-2000
	金沢医療センター	920-8650	金沢市下石引町1-1	076-262-4161
	金沢医科大学病院	920-0293	河北郡内灘町大学1-1	076-286-3511

*ブロック拠点病院 ↑中核拠点病院

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
石川県	公立能登総合病院	926-0816	七尾市藤橋町ア部6-4	0767-52-6611
	小松市民病院	923-8560	小松市向本折町ホ60	0761-22-7111
	石川病院	922-0405	加賀市手塚町サ150	0761-74-0700
福井県	福井大学医学部附属病院 ↑	910-1193	吉田郡永平寺町松岡下合月23-3	0776-61-3111
	福井県立病院	910-8526	福井市四ツ井2-8-1	0776-54-5151
	福井病院	914-0195	敦賀市桜ヶ丘町33-1	0770-25-1600
	市立敦賀病院	914-8502	敦賀市三島町1-6-60	0770-22-3611
岐阜県	岐阜大学医学部附属病院 ↑	501-1194	岐阜市柳戸1-1	058-230-6000
	岐阜県総合医療センター	500-8717	岐阜市野一色4-6-1	058-246-1111
	長良医療センター	502-8558	岐阜市長良1300-7	058-232-7755
	大垣市民病院	503-8502	大垣市南類町4-86	0584-81-3341
	木沢記念病院	505-8503	美濃加茂市古井町下古井590	0574-25-2181
	岐阜県立多治見病院	507-8522	多治見市前畑町5-161	0572-22-5311
	岐阜県立下呂温泉病院	509-2292	下呂市幸田1162	0576-25-2820
	高山赤十字病院	506-8550	高山市天満町3-11	0577-32-1111
静岡県	静岡市立静岡病院 ↑	420-8630	静岡市葵区追手町10-93	054-253-3125
	静岡県立総合病院	420-8527	静岡市葵区北安東4-27-1	054-247-6111
	静岡赤十字病院	420-0853	静岡市葵区追手町8-2	054-254-4311
	静岡済生会総合病院	422-8527	静岡市駿河区小鹿1-1-1	054-285-6171
	静岡市立清水病院	424-8636	静岡市清水区宮加三1231	054-336-1111
	富士宮市立病院	418-0076	富士宮市錦町3-1	0544-27-3151
	富士市立中央病院	417-8567	富士市高島町50	0545-52-1131
	沼津市立病院 ↑	410-0302	沼津市東椎路春ノ木550	055-924-5100
	静岡医療センター	411-8611	駿東郡清水町長沢762-1	055-975-2000
	順天堂大学医学部附属静岡病院	410-2295	伊豆の国市長岡1129	055-948-3111
	伊東市民病院	414-0055	伊東市岡196-1	0557-37-2626
	焼津市立総合病院	425-8505	焼津市道原1000	054-623-3111
	藤枝市立総合病院	426-8677	藤枝市駿河台4-1-11	054-646-1111
	市立島田市民病院	427-8502	島田市野田1200-5	0547-35-2111
	浜松医療センター ↑	432-8580	浜松市中区富塚町328	053-453-7111
	浜松赤十字病院	434-8533	浜松市浜北区小林1088-1	053-401-1111
	遠州病院	430-0929	浜松市中区中央1-1-1	053-453-1111
	聖隷浜松病院	430-8558	浜松市中区住吉2-12-12	053-474-2222
	浜松医科大学医学部附属病院	431-3192	浜松市東区半田山1-20-1	053-435-2111
	総合病院聖隷三方原病院	433-8558	浜松市北区三方原町3453	053-436-1251
	磐田市立総合病院	438-8550	磐田市大久保512-3	0538-38-5000
	市立湖西病院	431-0431	湖西市鷺津2259-1	053-576-1231
	名古屋医療センター ＊↑	460-0001	名古屋市中区三の丸4-1-1	052-951-1111

＊ブロック拠点病院 ↑中核拠点病院

Part3 相談や情報収集ができる場所

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
愛知県	名古屋第一赤十字病院	453-8511	名古屋市中村区道下町3-35	052-481-5111
	名古屋市立東部医療センター	464-8547	名古屋市千種区若水1-2-23	052-721-7171
	東名古屋病院	465-0065	名古屋市名東区梅森坂5-101	052-801-1151
	名古屋大学医学部附属病院 ↑	466-8560	名古屋市昭和区鶴舞町65	052-741-2111
	名古屋第二赤十字病院	466-8650	名古屋市昭和区妙見町2-9	052-832-1121
	名古屋市立大学病院	467-8602	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	052-851-5511
	豊橋市民病院	441-8570	豊橋市青竹町字八間西50	0532-33-6111
	岡崎市民病院	444-8553	岡崎市高陸寺町五所合3-1	0564-21-8111
	安城更生病院	446-8602	安城市安城町東広畔28	0566-75-2111
	藤田保健衛生大学病院	470-1192	豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98	0562-93-2111
	小牧市民病院	485-8520	小牧市常普請1-20	0568-76-4131
	愛知医科大学病院	480-1195	長久手市岩作雁又1-1	0561-62-3311
三重県	三重大学医学部附属病院 ↑	514-8507	津市江戸橋2-174	059-232-1111
	三重中央医療センター	514-1101	津市久居明神町2158-5	059-259-1211
	三重県立総合医療センター	510-8561	四日市市日永5450-132	059-345-2321
	伊勢赤十字病院	516-8512	伊勢市船江1-471-2	0596-28-2171
滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院 ↑	520-2192	大津市瀬田月輪町	077-548-2111
	大津赤十字病院	520-0046	大津市長等1-1-35	077-522-4131
	滋賀県立成人病センター	524-8524	守山市守山5-4-30	077-582-5031
	彦根市立病院	522-8539	彦根市八坂町1882	0749-22-6050
京都府	京都大学医学部附属病院 ↑	606-8507	京都市左京区聖護院川原町54	075-751-3111
	京都府立医科大学附属病院	602-8566	京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465	075-251-5111
	京都市立病院	604-8845	京都市中京区壬生東高田町1-2	075-311-5311
	京都第一赤十字病院	605-0981	京都市東山区本町15-749	075-561-1121
	洛西ニュータウン病院	610-1142	京都市西京区大枝東新林町3-6	075-332-0123
	京都医療センター	612-8555	京都市伏見区深草向畑町1-1	075-641-9161
	京都山城総合医療センター	619-0214	木津川市木津駅前1-27	0774-72-0235
	舞鶴医療センター	625-8502	舞鶴市字行永2410	0773-62-2680
	公立南丹病院	629-0197	南丹市八木町八木上野25	0771-42-2510
	京都府立医科大学附属北部医療センター	629-2261	与謝郡与謝野町字男山481	0772-46-3371
大阪府	大阪医療センター *	540-0006	大阪市中央区法円坂2-1-14	06-6942-1331
	大阪市立総合医療センター ↑	534-0021	大阪市都島区都島本通2-13-22	06-6929-1221
	大阪府立急性期・総合医療センター ↑	558-8558	大阪市住吉区万代東3-1-56	06-6692-1201
	大阪市立大学医学部附属病院	545-8586	大阪市阿倍野区旭町1-5-7	06-6645-2121
	刀根山病院	560-8552	豊中市刀根山5-1-1	06-6853-2001
	大阪大学医学部附属病院	565-0871	吹田市山田丘2-15	06-6879-5111
	大阪医科大学附属病院	569-8686	高槻市大学町2-7	072-683-1221
	関西医科大学附属枚方病院	573-1191	枚方市新町2-3-1	072-804-0101

*ブロック拠点病院 ↑ 中核拠点病院

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
大阪府	星ヶ丘医療センター	573-8511	枚方市星丘4-8-1	072-840-2641
	東大阪市立総合病院	578-8588	東大阪市西岩田3-4-5	06-6781-5101
	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター	583-8588	羽曳野市はびきの3-7-1	072-957-2121
	大阪南医療センター	586-8521	河内長野市木戸東町2-1	0721-53-5761
	近畿大学医学部附属病院	589-8511	大阪狭山市大野東377-2	072-366-0221
	市立堺病院 ↑	590-0064	堺市堺区南安井町1-1-1	072-221-1700
	近畿中央胸部疾患センター	591-8555	堺市北区長曾根町1180	072-252-3021
	りんくう総合医療センター	598-8577	泉佐野市りんくう往来北2-23	072-469-3111
兵庫県	神戸大学医学部附属病院	650-0017	神戸市中央区楠町7-5-2	078-382-5111
	神戸市立医療センター中央市民病院	650-0047	神戸市中央区港島南町2-1-1	078-302-4321
	神戸医療センター	654-0155	神戸市須磨区西落合3-1-1	078-791-0111
	兵庫県立淡路医療センター	656-0021	洲本市塩屋1-1-137	0799-22-1200
	兵庫県立尼崎病院	660-0828	尼崎市東大物町1-1-1	06-6482-1521
	関西労災病院	660-8511	尼崎市稲葉荘3-1-69	06-6416-1221
	兵庫医科大学病院 ↑	663-8501	西宮市武庫川町1-1	0798-45-6111
	豊岡病院	668-8501	豊岡市戸牧1094	0796-22-6111
	兵庫中央病院	669-1592	三田市大原1314	079-563-2121
	姫路医療センター	670-8520	姫路市本町68	079-225-3211
奈良県	兵庫県立加古川医療センター	675-8555	加古川市神野町神野203	079-497-7000
	奈良県立医科大学附属病院 ↑	634-8522	橿原市四条町840	0744-22-3051
	市立奈良病院	630-8305	奈良市東紀寺町1-50-1	0742-24-1251
和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院 ↑	641-8510	和歌山市紀三井寺811-1	073-447-2300
	南和歌山医療センター	646-8558	田辺市たきない町27-1	0739-26-7050
鳥取県	鳥取県立中央病院	680-0901	鳥取市江津730	0857-26-2271
	鳥取大学医学部附属病院 ↑	683-8504	米子市西町36-1	0859-33-1111
	米子医療センター	683-8518	米子市車尾4-17-1	0859-33-7111
島根県	松江赤十字病院	690-8506	松江市母衣町200	0852-24-2111
	島根大学医学部附属病院 ↑	693-8501	出雲市塩冶町89-1	0853-23-2111
	島根県立中央病院	693-8555	出雲市姫原4-1-1	0853-22-5111
	浜田医療センター	697-8511	浜田市浅井町777-12	0855-25-0505
	益田赤十字病院	698-8501	益田市乙吉町103-1	0856-22-1480
岡山県	川崎医科大学附属川崎病院 ↑	700-8505	岡山市北区中山下2-1-80	086-225-2111
	岡山済生会総合病院	700-8511	岡山市北区伊福町1-17-18	086-252-2211
	岡山大学病院	700-8558	岡山市北区鹿田町2-5-1	086-223-7151
	総合病院岡山赤十字病院	700-8607	岡山市北区青江2-1-1	086-222-8811
	岡山医療センター	701-1192	岡山市北区田益1711-1	086-294-9911
	岡山労災病院	702-8055	岡山市南区築港緑町1-10-25	086-262-0131
	川崎医科大学附属病院	701-0192	倉敷市松島577	086-462-1111

*ブロック拠点病院 ↑中核拠点病院

Part3 相談や情報収集ができる場所

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
岡山県	倉敷中央病院	710-8602	倉敷市美和1-1-1	086-422-0210
	南岡山医療センター	701-0304	都窪郡早島町早島4066	086-482-1121
	津山中央病院	708-0841	津山市川崎1756	0868-21-8111
広島県	広島市立広島市民病院 *†	730-8518	広島市中区基町7-33	082-221-2291
	県立広島病院 *†	734-8530	広島市南区宇品神田1-5-54	082-254-1818
	広島大学病院 *	734-8551	広島市南区霞1-2-3	082-257-5555
	呉医療センター	737-0023	呉市青山町3-1	0823-22-3111
	福山医療センター	720-8520	福山市沖野上町4-14-17	084-922-0001
山口県	岩国医療センター	740-8510	岩国市愛宕町1-1-1	0827-34-1000
	山口県立総合医療センター	747-8511	防府市大崎77	0835-22-4411
	関門医療センター †	752-8510	下関市長府外浦町1-1	083-241-1199
	山口大学医学部附属病院 †	755-8505	宇部市南小串1-1-1	0836-22-2501
	山口宇部医療センター	755-0241	宇部市東岐波685	0836-58-2300
徳島県	徳島大学病院 †	770-8503	徳島市蔵本町2-50-1	088-631-3111
	徳島県立中央病院 †	770-8539	徳島市蔵本町1-10-3	088-631-7151
	徳島県立三好病院	778-8503	三好市池田町シマ815-2	0883-72-1131
	徳島県立海部病院	775-0006	海部郡牟岐町大字中村字本村75-1	0884-72-1166
	阿南共栄病院	779-1198	阿南市羽ノ浦町中庄蔵ノホケ36	0884-44-3131
	徳島県鳴門病院	772-8503	鳴門市撫養町黒崎字小谷32	088-683-0011
香川県	高松赤十字病院	760-0017	高松市番町4-1-3	087-831-7101
	香川県立中央病院	760-8557	高松市番町5-4-16	087-835-2222
	香川大学医学部附属病院 †	761-0793	木田郡三木町池戸1750-1	087-898-5111
	四国こどもとおとなの医療センター	765-8507	善通寺市仙遊町2-1-1	0877-62-1000
	三豊総合病院	769-1695	観音寺市豊浜町姫浜708	0875-52-3366
愛媛県	愛媛県立中央病院	790-0024	松山市春日町83	089-947-1111
	松山赤十字病院	790-8524	松山市文京町1	089-924-1111
	創精会松山記念病院	791-8022	松山市美沢1-10-38	089-925-3211
	愛媛大学医学部附属病院 †	791-0295	東温市志津川	089-964-5111
	愛媛医療センター	791-0281	東温市横河原366	089-964-2411
	愛媛県立新居浜病院	792-0042	新居浜市本郷3-1-1	0897-43-6161
	愛媛労災病院	792-8550	新居浜市南小松原町13-27	0897-33-6191
	積善会十全総合病院	792-8586	新居浜市北新町1-5	0897-33-1818
	済生会西条病院	793-0027	西条市朔日市269-1	0897-55-5100
	同心会西条中央病院	793-0027	西条市朔日市804	0897-56-0300
	更生会村上記念病院	793-0030	西条市大町739	0897-56-2300
	西条市立周桑病院	799-1341	西条市壬生川131	0898-64-2630
	愛媛県立今治病院	794-0006	今治市石井町4-5-5	0898-32-7111
	市立大洲病院	795-8501	大洲市西大洲字ヤスバ甲570	0893-24-2151
	市立八幡浜総合病院	796-8502	八幡浜市大平1-638	0894-22-3211
	市立宇和島病院	798-8510	宇和島市御殿町1-1	0895-25-1111

*ブロック拠点病院 †中核拠点病院

資料2 ACCとエイズ治療拠点病院リスト

	病 院 名	〒	所 在 地	電 話 番 号
愛媛県	愛媛県立南宇和病院	798-4131	南宇和郡愛南町城辺甲2 4 3 3-1	0895-72-1231
	三島医療センター	799-0422	四国中央市中之庄町1 6 8 4-2	0896-23-2515
高知県	高知病院	780-8077	高知市朝倉西町1-2-2 5	088-844-3111
	高知医療センター	781-8555	高知市池2 1 2 5-1	088-837-3000
	高知大学医学部附属病院 ↑	783-8505	南国市岡豊町小蓮1 8 5-1	088-866-5811
	高知県立あき総合病院	784-0027	安芸市宝永町3-3 3	0887-34-3111
福岡県	高知県立幡多けんみん病院	788-0785	宿毛市山奈町芳奈3-1	0880-66-2222
	九州大学病院	812-8582	福岡市東区馬出3-1-1	092-641-1151
	福岡大学病院	814-0180	福岡市城南区七隈7-4 5-1	092-801-1011
	九州医療センター *	810-8563	福岡市中央区地行浜1-8-1	092-852-0700
	産業医科大学病院 ↑	807-8555	北九州市八幡西区医学生ヶ丘1-1	093-603-1611
	久留米大学病院	830-0011	久留米市旭町6 7	0942-35-3311
	聖マリア病院	830-8543	久留米市津福本町4 2 2	0942-35-3322
佐賀県	飯塚病院	820-8505	飯塚市芳雄町3-8 3	0948-22-3800
	佐賀大学医学部附属病院 ↑	849-8501	佐賀市鍋島5-1-1	0952-31-6511
長崎県	佐賀県医療センター好生館	840-8571	佐賀市嘉瀬町中原4 0 0	0952-24-2171
	長崎大学院 ↑	852-8501	長崎市坂本1-7-1	095-819-7200
熊本県	長崎医療センター	856-8562	大村市久原2-1 0 0 1-1	0957-52-3121
	佐世保市立総合病院	857-8511	佐世保市平瀬町9-3	0956-24-1515
大分県	熊本大学医学部附属病院 ↑	860-8556	熊本市中央区本庄1-1-1	096-344-2111
	熊本医療センター	860-0008	熊本市中央区二の丸1-5	096-353-6501
	熊本市立熊本市民病院	862-8505	熊本市東区湖東1-1-6 0	096-365-1711
	大分医療センター	870-0263	大分市横田2-1 1-4 5	097-593-1111
宮崎県	大分県立病院	870-8511	大分市豊饒4 7 6	097-546-7111
	別府医療センター	874-0011	別府市大字内かまど1 4 7 3	0977-67-1111
	西別府病院	874-0840	別府市鶴見4 5 4 8	0977-24-1221
	大分大学医学部附属病院 ↑	879-5593	由布市挾間町医大ヶ丘1-1	097-549-4411
鹿児島県	宮崎県立宮崎病院 ↑	880-8510	宮崎市北高松町5-3 0	0985-24-4181
	宮崎大学医学部附属病院	889-1692	宮崎市清武町木原5 2 0 0	0985-85-1510
	都城病院	885-0014	都城市祝吉町5 0 3 3-1	0986-23-4111
沖縄県	鹿児島大学病院 ↑	890-8520	鹿児島市桜ヶ丘8-3 5-1	099-275-5111
	鹿児島医療センター	892-0853	鹿児島市城山町8-1	099-223-1151
	昭和会今給黎総合病院	892-8502	鹿児島市下竜尾町4-1 6	099-226-2211
	県民健康プラザ鹿屋医療センター	893-0013	鹿屋市礼元1-8-8	0994-42-5101
	出水総合医療センター	899-0131	出水市明神町5 2 0	0996-67-1611
	鹿児島県立大島病院	894-0015	奄美市市瀬真名津町1 8-1	0997-52-3611
沖縄県	琉球大学医学部附属病院 ↑	903-0215	中頭郡西原町上原2 0 7	098-895-3331
	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	901-1193	島尻郡南風原町字新川1 1 8-1	098-888-0123
	沖縄県立中部病院	904-2293	うるま市宇宮里2 8 1	098-973-4111

*ブロック拠点病院 ↑中核拠点病院

2015年3月発行

編集・発行

平成26年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策事業（エイズ対策実用化研究事業）

「HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班／研究代表者：塚原優己

執筆者

塚原 優己（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター産科）

谷口 晴記（三重県立総合医療センター産婦人科）

大金 美和（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターケア支援室）

渡邊 英恵（国立病院機構名古屋医療センター看護部）

源 名保美（国立国際医療研究センター看護部）

羽柴知恵子（国立病院機構名古屋医療センター外来）

廣瀬 紀子（山梨県立中央病院医療安全管理室）

五反田弥恵（国立病院機構仙台医療センター母子医療センター）

矢永由里子（慶應義塾大学医学部感染制御センター）

塩田ひとみ（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

執筆協力

井上 孝実（医療法人葵鐘会ローズヘルクリニック）

山田 里佳（愛知厚生連海南病院産婦人科）

源河いくみ（医療法人社団ミッドタウンクリニック東京ミッドタウンクリニック内科）

千田 時弘（紀南病院産婦人科）

高田知恵子（秋田大学教育文化学部）

今井 光信（田園調布学園大学人間福祉学部社会福祉学科）

佐野 貴子（神奈川県衛生研究所微生物部）

松岡 恵（杏林大学保健学部看護科）

喜多 恒和（奈良県総合医療センター周産期母子医療センター／産婦人科）

外川 正生（大阪市立総合医療センター小児医療センター小児総合診療部・小児救急科）

問い合わせ先

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1

国立成育医療研究センター周産期・母子診療センター産科 塚原優己